

ぬくい しぜんかんさつ 温井ダム自然観察ガイドマップ

ぬくい まわ しよくぶつ さが い ~ 温井ダムの周りでみられる植物を探しに行こう!! ~

さんさく 散策ルート (滝山川沿い道路)
さんさく 散策ルート (雄野原キャンプ場遊歩道)

おも 主にみられる植物
はる 春 (3月~6月頃)

ミズナラ、ネコヤナギ、ケハンショウヅル、ウラジロイカリソウ、ウツギ、ヤマザクラ、ヤマフジ、アワブキ、ケイリュウタチツボスミレ、オオイワカガミ、ダイセンミツバツツジ、ヤマツツジ、コバノミツバツツジ、キシツツジ、アサガラ、エゴノキ、カキドオシ、デウノツナミソウ、ガマズミ、ハナニガナ、ミヤマヨメナなど。

なつ 夏 (6月~9月頃)

オトギリソウ、マルバマンネングサ、クサアジサイ、コアジサイ、シモツケ、ネムノキ、オカトラノオ、オミナエシ、オオバギボウシ、ヤマホトトギス、タニギキョウ、イなど。

あき 秋 (9月~11月頃)

コナラ (ドングリ)、ハウチワカエデ (紅葉)、ツリフネソウ、アキノタムラソウ、アケボノソウ、ミヤジマママコナ、ノコンギク、アキノキリンソウなど。



※動植物保護の観点から、貴重な植物が生育する詳細な位置は掲載していません。



たくさん探して遊んでね!

さんさく 散策ルート (下流河川)
おも 主にみられる植物

はる 春 (3月~6月頃)

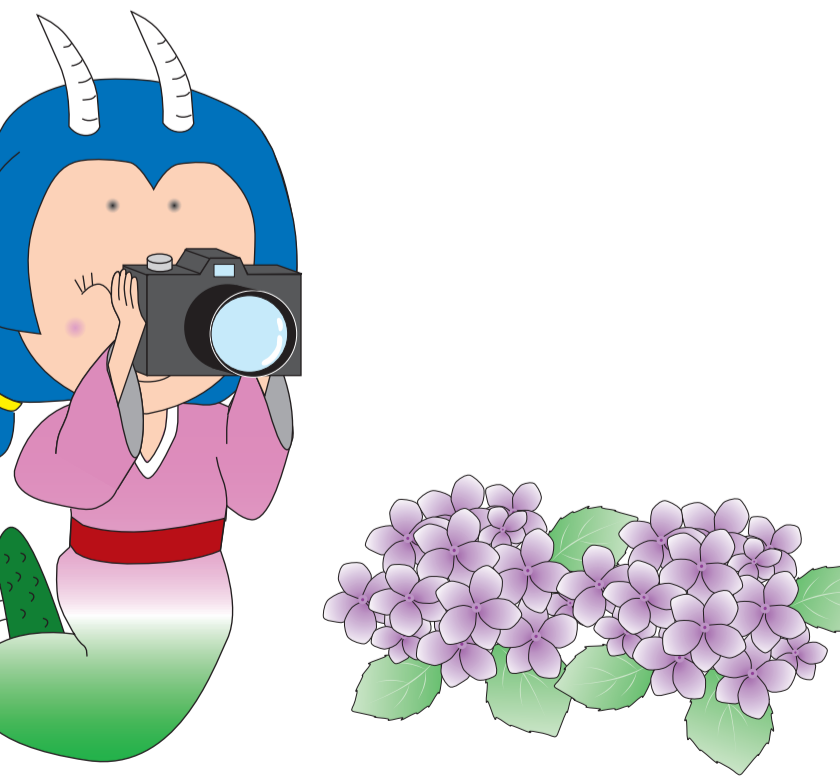
アワブキ、ヤブツバキ、ユキヤナギ、ヤマザクラ、ミヤマカタバミ、アサガラ、ハナタツナミソウ、ショウジョウバカマ、シライトソウ、ミヤマナルコリ、チゴユリなど。

なつ 夏 (6月~9月頃)

ネムノキ、イワタバコ、アカショウマ、タニギキョウ、テイカズラ、イなど。

あき 秋 (9月~11月頃)

コナラ (ドングリ)、チドリノキ (紅葉)、ジンジソウ、ヤマジノホトトギス、シロヨメナ、コウゾリナなど。



さんさく 散策ルート (林道沿い)
さんさく 散策ルート (遊歩道沿い)
さんさく 散策ルート (湖岸道路沿い)

おも 主にみられる植物
はる 春 (3月~6月頃)

ウラジロイカリソウ、ヤマブキ、アサガラ、フデリンドウ、ウグイスカグラ、ホウチャクソウ、エンレイソウ、マムシグサなど。

なつ 夏 (6月~9月頃)

サラシナショウマ、ヤマアジサイ、マルバマンネングサ、クサギ、イワタバコ、タニギキョウなど。

あき 秋 (9月~11月頃)

コナラ (ドングリ)、イロハモミジ (紅葉)、アケボノソウ、ミヤジマママコナ、コウゾリナ、ヤクシソウなど。

さんさく 散策ルート (自然生態公園)
さんさく 散策ルート (ダム堤体周辺)

おも 主にみられる植物
はる 春 (3月~6月頃)

ウラジロイカリソウ、ツクバネ、ウツギ、ヤマザクラ、ヤマフジ、アワブキ、タチツボスミレ、シハイスミレ、オオイワカガミ、ギンリョウソウ、ヤマツツジ、コバノミツバツツジ、ナツハゼ、アサガラ、エゴノキ、アオダモ、キリ、ハナニガナ、チゴユリなど。

なつ 夏 (6月~9月頃)

オトギリソウ、カワラナデシコ、ネムノキ、オカトラノオなど。

あき 秋 (9月~11月頃)

コナラ (ドングリ)、イロハモミジ (紅葉)、アキノタムラソウなど。



自然観察時の注意

道のない所に入らない。むやみに動物や植物をとらない。川の中では子供だけで遊ばない。ゴミは捨てずに持ち帰る。

危険な動物にも注意しよう!

ハチ(オオスズメバチなど) 巣に近づかない。ハチが近づいても逃げ回らない。襲われたら地面に伏せて動かない。

ツキノワグマ 山の中に入る時は、クマに出会わないために、クマ鈴やラジオなどの音の出るものを持ち歩く。

へび(マムシ、ヤマカガシ) 道のない所を歩かない。足元に気をつける。

ぬくい しゅうへん み しょうぶつ しょうかい 温井ダム周辺で見られる植物の紹介

Nukui Dam

温井ダム周辺には、コナラ、ミズナラ、ケヤキなどの樹木、ナツエビネ、シハイスミシなどの草花など合計1150種の植物が見られます。また、河川敷には、ネコヤナギ、キシツツジ、ツルヨシなど河川の植物を代表する種が見られます。



樹木 : おもに見られる場所
草花 : 大きさ、花の特徴など

花が見れる時期

ネコヤナギ (ヤナギ科)

生育場 日当たりのよい小川の水際や深流の岩の隙間などで見られます。
生態 大きなものでは高さ3mになります。3~4月の早春期に、銀白色の細長い花穂をつけます。

ツクハネ (ビャクダン科)

生育場 日当たりのよいモミ林やツガ林に寄生しています。
生態 木の高さは1.5~2mに達します。5~6月に花を咲かせます。また、果実には羽根があります。

シモツケ (バラ科)

生育場 山地や原野の日当たりのよい場所で見られます。
生態 木の高さは1m程になり、6~8月に枝の先に淡い紅色の小さな花を群がって咲かせます。

アサガラ (エゴノキ科)

生育場 山の中で見られます。
生態 木の高さは4~10mに達します。5~6月に白色の花を咲かせます。花は房状にたれて咲いています。

ギンリョウソウ (イチヤクソウ科)

生育場 山地の林の落葉の中で見られる腐生植物(他の生物の死体、尿、フンなどを栄養として生活する植物)です。地上部は全て純白色で、春から夏に花を下向きに咲かせます。

タニギキョウ (キキョウ科)

生育場 山地の木陰などで見られます。
生態 草丈は10cmほどであり、とても小さい草花です。5~8月に白色の花を咲かせます。

ツルヨシ (イネ科)

生育場 川岸の砂地、谷川の岸で見られます。
生態 草丈は1.5~2mであり、地表をほう長い枝を出しています。8~10月に花を咲かせます。

ミズナラ (ブナ科)

生育場 冷温帯の山林で見られます。
生態 木の高さは30m、幹の太さは直径1.7mに達します。5月頃に長さ5cmほどの花を咲かせ、秋にはドングリがなります。

タムシバ (モクレン科)

生育場 山地の尾根すじや、これに接する斜面で見られます。
生態 木の高さは3~9mに達します。4~5月に直径6~10cmの香りのある白色の花を咲かせます。

ユキヤナギ (バラ科)

生育場 川岸の岩の上で見られますが、庭や公園にも植えられています。
生態 木の高さは1~3mに達します。4月頃に白色の花が2~7個ずつ固まって咲きます。

ウラジロイカリソウ (メギ科)

生育場 山地の木陰で見られます。
生態 トキワイカリソウの変種(基本的に同じ種類ですがどこか違っているもので、葉の裏面に毛が多くあります。4~5月に紅紫色の花を咲かせます。

アケボノソウ (リンドウ科)

生育場 山地の谷川に沿った湿り気のある場所で見られます。
生態 草丈は60~90cmであり、8~10月に茎や枝の先に白色の花を多数つけます。

シライトソウ (ユリ科)

生育場 山地の林で見られます。
生態 草丈は20~35cmに達します。5~6月に白い糸のような花を多数咲かせます。シライトソウの名前はこの花の姿によりつけられています。

ナツエビネ (ラン科)

生育場 湿り気のある林内で見られます。
生態 7~8月に淡い紫色の花を10~20個咲かせます。普通、エビネの仲間には春に花を咲かせますが、ナツエビネは夏に花を咲かせます。

コナラ (ブナ科)

生育場 日当たりのよい山地や丘陵で見られます。
生態 木の高さは15mに達し、まきや炭に利用されます。4~5月頃に花を咲かせ、秋にドングリがなります。

ヤブツバキ (ツバキ科)

生育場 海岸から河川の川岸で見られます。公園や庭に植えられています。
生態 木の高さは大きいもので10~15mに達します。2~4月に赤色の花を咲かせます。

ネムノキ (マメ科)

生育場 日当たりのよい山野、川岸で見られますが、植栽もされています。
生態 木の高さは5~10m、幹の太さは直径45cmに達します。6~8月に淡い紅色の花を咲かせます。

タチツボスミレ (スミレ科)

生育場 日当たりのよい草地や落葉樹林の下や林縁などで見られます。
生態 草丈は5~15cmで、2~5月に淡い紫色の花を咲かせます。日本を代表するスミレの一つです。

ハイルリソウ (ムラサキ科)

生育場 山地で見られます。
生態 花をつける茎は根元から出ています。花はまばらに4~5個つき、淡い紅色で約1cmの大きさです。

ジョウジョウハカマ (ユリ科)

生育場 山地で少し湿ったところで見られます。
生態 草丈は10~17cmに達します。4~6月に淡い紅色や濃い紅色の花を数個~15個つけます。

シュンラン (ラン科)

生育場 低山帯の乾燥した林内で見られますが、栽培もされています。
生態 草丈は約10~25cmに達します。3~4月に淡い黄色の花を咲かせます。

ケヤキ (ニレ科)

生育場 山地の斜面に生育し、街路樹や庭木としても植えられています。
生態 木の高さは20~25m、幹の太さは直径3mに達します。4~5月に花を咲かせます。

ウツギ (コキソチタ科)

生育場 日当たりのよい山野で見られます。
生態 木の高さは1~3mに達し、5~6月に白色の花を咲かせます。一般的に「卵の花」と呼ばれています。

ヤマツツジ (ツツジ科)

生育場 丘陵地の森や林の中、草原で見られます。
生態 木の高さは1~4mに達します。4~6月に紅色や紅紫色の花を2~3個咲かせます。

シハイスミレ (スミレ科)

生育場 日当たりのよいところで見られます。
生態 草丈は5~8cmで、葉は光沢があります。4~5月に淡い紅色から濃い紅紫色の花を咲かせます。

デワノタツナミソウ (シソ科)

生育場 山地の湿った木陰で見られます。
生態 草丈は10~30cmになります。5~6月に1~3cmの紫色の花を咲かせます。

オオバギボウシ (ユリ科)

生育場 山地の草原や丘陵地で見られますが、庭園に栽培もされています。
生態 茎の長さは50~100cmに達し、7~8月に長さ4~5cmの淡い紫色や白色の花を多数つけます。

◎写真提供
① 奥田重俊
※上記以外の写真は、現地で撮影した写真や温井ダムの生物調査報告書の既存資料に掲載されている写真を使用しています。